

## 共通機能等（参考）

## 1. 共通機能実装方針等の方向性

共通基盤システム（共通機能および統合運用管理）は、基本的に仙台市クラウド上で提供する想定である。

共通機能は、申請管理機能、庁内データ連携機能、住登外者宛名番号管理機能、団体統合宛名機能、大量帳票システム、ユーザ管理・認証、文字管理を実装する。（EUC機能、統合収納管理機能・統合滞納管理機能は、業務システムごとに実装する。）

統合運用管理として、運用監視、ジョブ管理、バックアップ、セキュリティ対策、時刻同期、ログ管理、更新プログラム管理等を実装する。

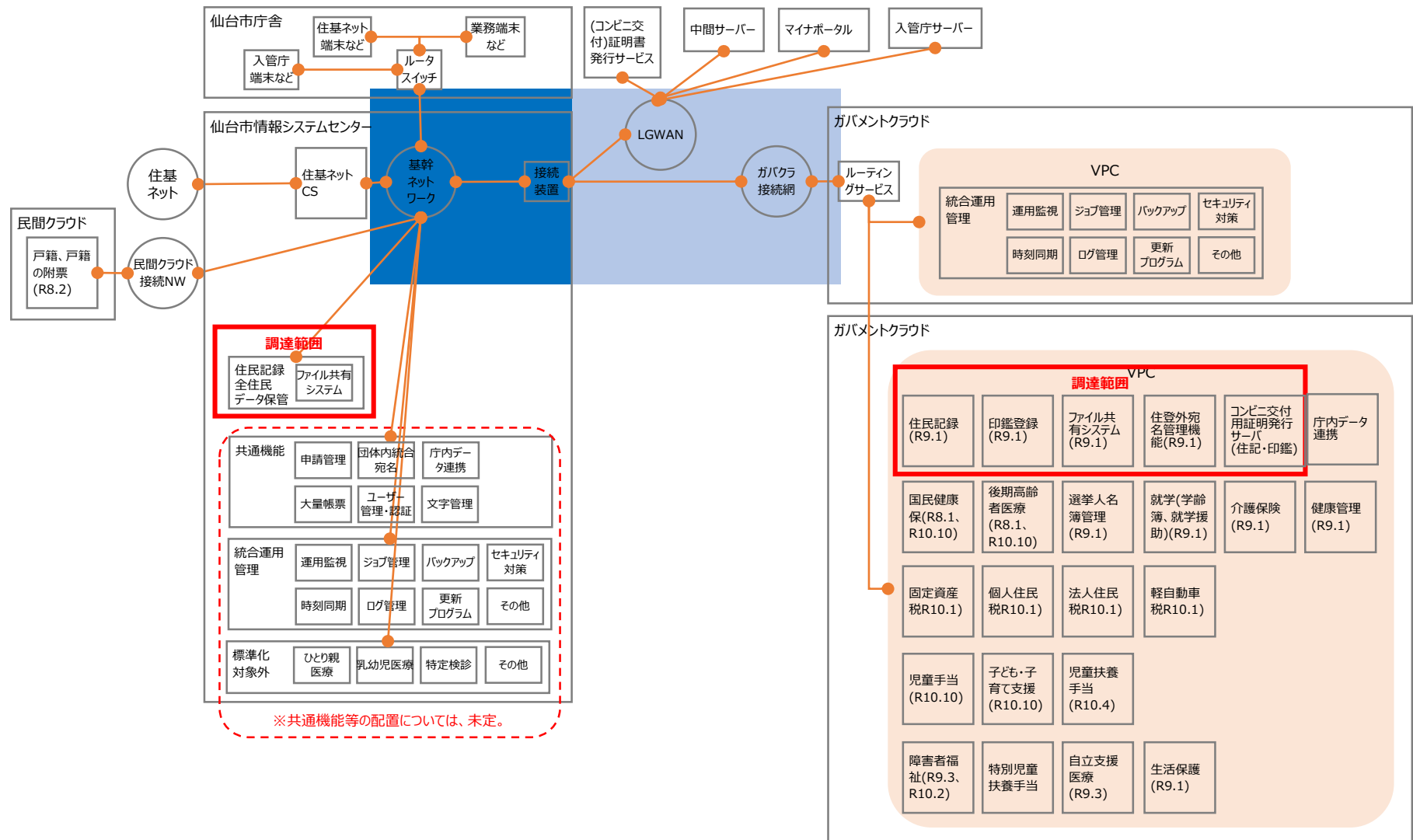
### 【仙台市クラウド】

共通基盤システム	
共通機能	統合運用管理
申請管理	運用監視
庁内データ連携	ジョブ管理
住登外者宛名番号管理	バックアップ
団体内統合宛名	セキュリティ対策
大量帳票システム	時刻同期
ユーザ管理・認証	ログ管理
文字管理	更新プログラム管理
	その他

※住登外者宛名番号管理機能については、本調達の対象となった。

(出所) 仙台市基幹系システム標準化基本方針書概要版

## 2. 仙台市ガバメントクラウド利用全体像



(注) 本資料は、住民記録、印鑑登録システムの調達に必要なネットワークを洗い出す目的で記載しており、庁内ネットワーク、外部機関との接続やそのネットワーク、他の業務システムなどを、全て網羅的に記載している訳ではない。

### 3. 事業者の役割分担(現時点の想定)

事業者(組織)の主な役割は以下のとおり。

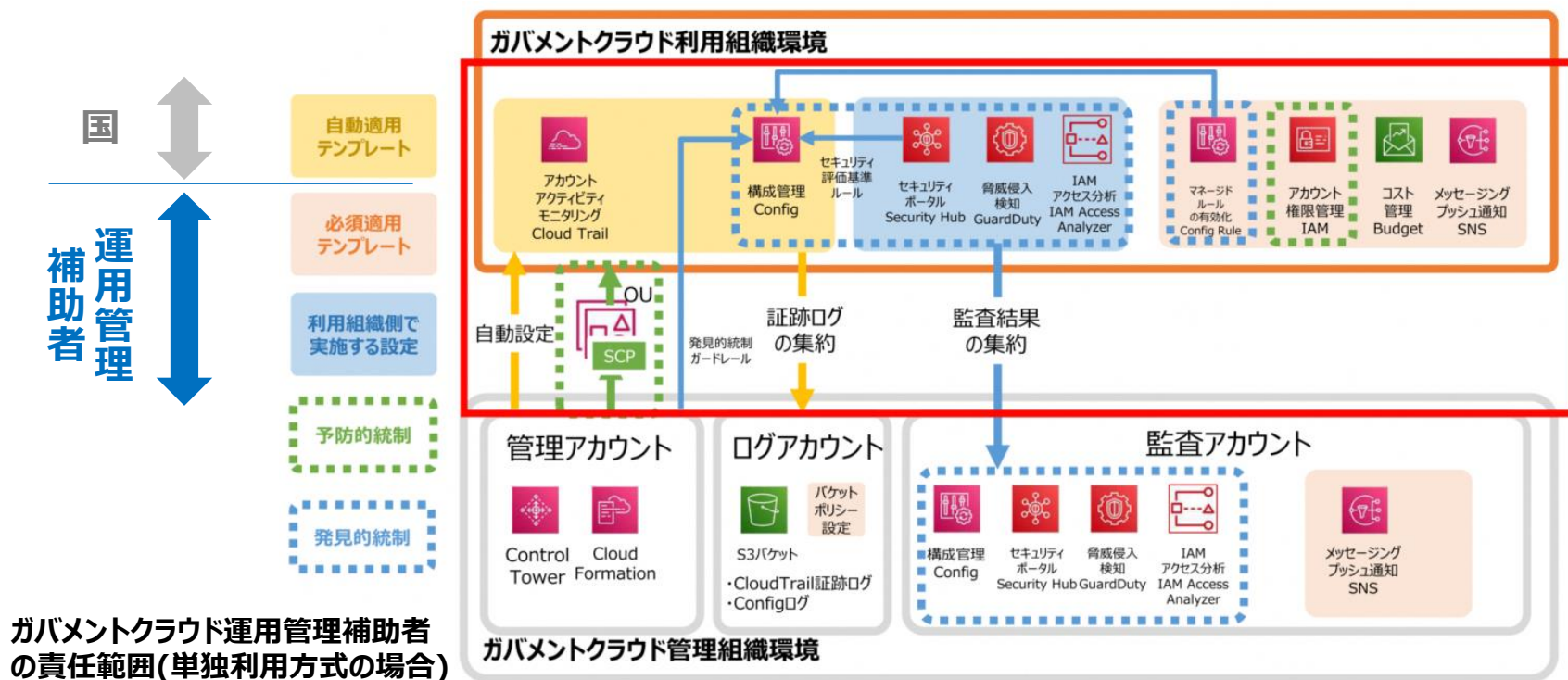
CSPが責任共有モデルであるため、マネージドかアンマネージドかで責任分界は異なる。

No.	事業者(組織)	主な役割分担
1	仙台市 戸籍住民課	業務システム・サービスを利用する。 フィッティング検討・整理、標準化対象外や外付けの要件定義、データ移行検討・整理をする。 機能標準化基準への適合性の確認をする。
2	仙台市 情報システム課	標準準拠システムの基盤、NW回線、環境(アカウント)の払い出しなどのための調整をする。 共通機能の検討・整理(共通機能との連携テストを含む)、業務端末などでの全体との接続、 その他マルチベンダでの標準化の取組みの全体管理をする。
3	ASP (Application Service Provider)	業務システム・サービスを提供・保守する。 (標準化対象20業務、標準化対象外業務)
4	基幹ネットワーク事業者	基幹ネットワークの運用保守を行う。
5	ガバメントクラウド運用管理補助者	本市のガバメントクラウドの担当領域範囲(単独利用方式、共同利用方式で異なる)のガバメントクラウドの運用管理(監視、ルール、アカウント管理、コスト、テンプレート適用、運用管理、システム障害対応、NW障害対応、リハーサル)を行う。
6	ネットワーク事業者 (NSP: Network Service Provider)	ガバメントクラウド接続サービス(終端装置からガバメントクラウドまでのネットワーク回線)を提供する。
7	デジタル庁	クラウドサービス、マネージドサービスを利用させる。 デジタル庁(ガードレール(全体利用ポリシー)の提供、テンプレート(リファレンス構成)、環境(払い出し))
8	CSP (Cloud Service Provider)	クラウドサービス(クラウド基盤(コンピュート、ストレージ、ネットワーク、ハードウェア、リージョン、AZ、エッジロケーション)、マネージドサービス(データベースサービス、仮想サーバーサービス、その他サービス))を[デジタル庁に]提供する。

## 4. ガバメントクラウド運用管理補助者について

単独利用方式を想定。ASPがガバメントクラウド運用管理補助者を兼務する場合もある。

単独利用方式の場合のガバメントクラウド運用管理補助者の責任範囲として、以下（青地背景色の部分の作業）を想定。



<b>監視</b>	モニタリング、セキュリティ検知、アクセス分析
<b>ルール</b>	マネージドルールの有効化
<b>アカウント管理</b>	アカウント権限管理
<b>コスト</b>	コスト管理
<b>テンプレート適用</b>	

<b>運用管理</b>	問合せ対応、課題管理、定期報告など
<b>システム障害対応</b>	障害切り分け、インスタンス再起動など
<b>NW障害対応</b>	切り分け、NW機器再起動など
<b>リハーサル</b>	
<b>ネットワーク管理</b>	DXGW、TGWの設定管理など